

放課後等デイサービス ガイドラインに沿ったアンケート調査の結果について

実施時期 平成 30 年 02 月～平成 29 年 03 月

対象者 放課後等デイサービス「げんきくん」に通所する就学後児童の保護者 26 名

まとめ このたびは、放課後等デイサービスガイドラインに沿ったアンケートにご協力いただきありがとうございます。各設問について別紙のとおりまとめましたので、ご報告させていただきます。また、この報告は別途、げんきくんのホームページにて公表させていただき、事業所の今後の課題などを現在通所している利用児・保護者、これから利用を検討される利用児・保護者と共有し、保護者の意見を反映した事業所づくりを推進していきます。

具体的検討項目

- ① (18)「事業所の支援について満足しているか」ほとんどの保護者が「はい」と回答
少数の保護者ではあるが「どちらともいえない」との回答を得ており、今後、利用児・保護者とのコミュニケーションを密にし、より満足していただける支援を目指していく。
- ② (3)バリアフリーへの配慮「げんきくん」の中には階段もあり、転倒などの事故がないように細心の注意を払っていく。
- ③ (11) 苦情・事故発生時の対応について苦情や事故等緊急かつ重大な課題が発生した場合は香川県・高松市に速やかに連絡し、必要な対応を実施していく。今後も事業所のみでの対応とするのではなく、社会福祉法人洋々会が率先して事態の解決を図っていく体制をとっていく。
- ④ (13) 会報やホームページを活用した情報発信
今後、必要な情報発信ができるようにインターネット等を積極的に活用していく。
- ⑤ (15) マニュアル等の保護者への周知／(16) 定期的な避難訓練の実施マニュアルの策定・更新は適宜進めているが、利用児等への内容の周知・徹底については十分でないところもある。今後、チラシやリーフレットなどで、通所している時に発生した緊急事態・非常災害の対処法などについて周知していく。放デイの利用児は個別支援のため、通所の日時がばらばらであり一斉の避難訓練などはできないが、少人数の避難訓練についても検討していく。

放課後等デイサービス「げんきくん」評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	2	0	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	12	1	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	5	0	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	8	0	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	11	0	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	17	7	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	4	0	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	6	1	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	9	3	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	12	13	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	13	0	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	8	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	9	7	
	14	個人情報に十分注意しているか	22	4	0	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	16	5	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	21	3	
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	23	3	0	
	18	事業所の支援に満足しているか	16	10	0	

実施時期 平成 30 年 02 月～平成 30 年 03 月

対象者 放課後等デイサービス「げんきくん」の指導員 12 名

まとめ 同時期に実施しました放課後等デイサービス保護者へのアンケートと並行して、日ごろ支援に携わっている職員にもアンケート調査を実施しました。別紙のとおりまとめましたので、ご報告させていただきます。今回のアンケートから、利用児への支援の充実や指導員としての資質向上のための研修について意欲が高いことがわかりました。今後も研修体制を一層充実させながら、次年度に向けて事業所内での情報共有にも力を入れていく必要性を感じました。この結果は保護者アンケート（結果公表済）と合わせて反映し、今後の開かれた事業所づくりに役立てていきたいと思えます。

① **資質向上のための研修について**

研修については出来るだけ積極的に参加するように事業所としても配慮している。「げんきくん」の職員として更なる資質向上を目標に、今後も研修に参加しやすい環境を整えていきたいと考える。

② **適切な支援の提供について**

「げんきくん」の放課後等デイサービスは原則個別指導にて実施している。その児童の発達や状況に応じて支援内容を決定しており、個別のプログラムを提供している。支援内容は利用児ごとの個別支援計画に基づいて決定している。1 回ごとの支援内容について、職員同士が話し合う時間が十分取れていない場合もあり、今後の課題である。それらの課題を補完するために定期的な部内会議の場を設定し、情報交換に努めている。

③ **関係機関や保護者との連携について**

「げんきくん」は送迎時、保護者と接する機会があり、保護者を介して関係機関との情報を交換することが多い。そのことは保護者・利用児を中心とした支援体制の構築につながっていると考える。利用児の情報については毎回の送迎時に保護者と直接話をして共有することが多い。学校など関係機関には、学校等や保護者の要望がある場合に訪問をしている。

④ **非常時の対応について**

避難訓練など定期的に実施しているが、地震や火災のみならず不審者対策なども実施していく。虐待の研修は毎年参加しているが、振り返り研修などを実施し、福祉職として適切な考え方や対応を全員が身に着けることを目標にしていく。「ヒヤリ・はっと」の蓄積を今後も行い、事故のない安全で安心な事業所をこれかも継続していく。

放課後等デイサービス「げんきくん」評価表（内部評価）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	3	2	パーティションによる区切りや個別室などを利用し空間確保に努めている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	5	2	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	3	1	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	6	2	職員会議等により情報共有を図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	6	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	8	1	引き続き、HP当にて公表していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	6	2	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	1	0	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	3	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	5	1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	2	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	3	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	5	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	2	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	0	0	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	4	0	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1	0	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	6	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5	7	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	6	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	5	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	4	1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	5	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	7	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	5	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	4	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	7	4	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	4	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	10	2	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	8	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	10	0	相談員との連携を図っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	9	3	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	4	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	3	
	35	個人情報に十分注意しているか	12	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	3	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	4	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	8	0	情報共有の徹底を行なっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	5	1	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	3	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	2	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	1	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	3	1	